

## 2026年度春学期 人間社会学部 **ウェルビーイング概論**

小口広太先生、齊藤紀子先生、藤井紘司先生

キーワード: ウェルビーイング、人・社会・自然のよい状態、構造的暴力、サステナビリティ

☐←実際に使用した資料にはチェックを入れましょう。

### Web(授業テーマに関連したデータベースやサイトの情報)

	データベース・サイト名	備考
<input type="checkbox"/>	<a href="#">OECD "Better Life Index"</a>	住宅、収入、雇用、コミュニティなど11の項目により構成された、OECD(経済協力開発機構)が公表している幸福度指標。
<input type="checkbox"/>	<a href="#">The World Happiness Report</a>	国連機関が毎年発行する世界各国の幸福度調査のレポートで、150以上の国と地域について、幸福度のランキングを発表している。
<input type="checkbox"/>	<a href="#">内閣府「Well-beingに関する取り組み」</a>	内閣府が実施する「満足度・生活の質に関する調査」や、Well-beingに関する関係省庁の連携についての資料などが掲載されている。

### 図書・電子書籍

	書名	著者	出版社	出版年	請求記号
<b>&lt;ウェルビーイング&gt;</b>					
<input type="checkbox"/>	<a href="#">Towards developing WHO's agenda on well-being</a>	World Health Organization (WHO)	World Health Organization (WHO)	2021	オープンアクセス 左記タイトルをクリック
ウェルビーイングに関する西欧・非西欧の先行研究を幅広く検討して議論を整理。ウェルビーイングの精緻な解釈は未だ明確になっていないことも指摘。					
<b>&lt;ウェルビーイング - 個人のウェルビーイング(主観的幸福度)を重視する立場の議論&gt;</b>					
<input type="checkbox"/>	<a href="#">ウェルビーイングレポート日本版2022</a>	ウェルビーイング学会	ウェルビーイング学会	2022	オープンアクセス 左記タイトルをクリック
ウェルビーイング研究の経緯を概観するとともに、ウェルビーイングの捉え方、SDGsとの関係などを議論している。					
<input type="checkbox"/>	<a href="#">幸福の測定: ウェルビーイングを理解する</a>	鶴見哲也, 藤井秀道, 馬奈木俊介著	中央経済社	2021	361.91/T/W295865 電子書籍 (MeL)
ウェルビーイング=幸福と位置づけ、大規模アンケート結果の統計的分析により「共通の傾向」を明らかにしようとした研究。					
<b>&lt;ウェルビーイング - 個人のウェルビーイングにとどまらない立場の議論&gt;</b>					
<input type="checkbox"/>	<a href="#">問いとしてのウェルビーイング: 人・社会・自然のよい状態を考える</a>	齊藤紀子, 荒川敏彦, 権永詞, 伊藤康編著	中央経済社	2025	360/S/W308885
健康や主観的幸福度と捉えられがちなウェルビーイングを、不平等、差別、環境問題などの「構造的暴力」をもって問い直すとともに、構造的暴力を克服する道筋を探っている。					
<input type="checkbox"/>	<a href="#">わたしたちのウェルビーイングをつくりあうために: その思想、実践、技術</a>	渡邊淳司, ドミニク・チェン監修・編著; 安藤英由樹, 坂倉杏介, 村田藍子編著	ビー・エヌ・エヌ新社	2020	007.3/W/W306740
個人の心の充足を主たるテーマとしてきた従来のウェルビーイング研究を批判的に検討。ウェルビーイングは「わたし」がひとりですり出すものではなく、「わたしたち」がともにつくりあうものであるとの立場。					
<input type="checkbox"/>	<a href="#">ウェルビーイングな社会をつくる: 循環型共生社会をめざす実践</a>	草郷孝好著	明石書店	2022	301/K/W298107 電子書籍 (MeL)
環境を大切に循環する経済、誰もが人間らしく生活でき多様性と人権を認め合う思いやりのある社会という「循環型共生社会」、および経済成長モデルと新自由主義経済に代わるウェルビーイングモデルの必要性を主張。					
<input type="checkbox"/>	<a href="#">人の資本主義</a>	中島隆博編	東京大学出版会	2021	332.06/N/W295974 電子書籍 (MeL)
わたしたちがいかなる社会を望むのかという問いにつき、人間中心主義を否定し、人間はひとりで人間的になることはできず、他者と共にあることではじめて人間的になるというHuman Co-becomingという考え方を提示。					
<input type="checkbox"/>	<a href="#">ウェルビーイングのつくりかた: 「わたし」と「わたしたち」をつなぐデザインガイド</a>	渡邊淳司, ドミニク・チェン著	ビー・エヌ・エヌ	2023	007.3/W/W302190
ウェルビーイングの対象領域を他者(We、近い特定の人とのかかわり)、社会(Society、より広い不特定多数の他者を含む社会とのかかわり)、自然(Universe、より大きな存在とのかかわり)まで含む考え方を提示。					

## 授業入門クエスト(CUCクエスト)

「授業入門クエスト」は、授業内容に関連する図書やデータベース等の情報資源を例示したリーフレットです。図書は、「授業入門クエスト」コーナーにあります。

＜構造的暴力＞					
	書名	著者	出版社	出版年	請求記号
<input type="checkbox"/>	<a href="#">Violence, Peace, and Peace Research</a> 《論文》	Johan Galtung	SAGE Publications	1969	「JSTOR」で閲覧可能 左記タイトルをクリック
【収録刊行物】Journal of Peace Research 6 (3), 167-191					
<input type="checkbox"/>	<a href="#">構造的暴力と平和</a>	ヨハン・ガルトウング著；高柳先男 [ほか]訳	中央大学出版部	1991	319.8/G17
戦争による殺戮や身体的虐待のような直接的暴力ではなく、差別・人権侵害や環境破壊などの、社会のしくみ(構造・制度)が人々のニーズ充足を妨げ害を与える暴力を論じた書。					
<input type="checkbox"/>	<a href="#">平和学のいま：地球・自分・未来をつなぐ見取図</a>	平井朗, 横山正樹, 小山英之編	法律文化社	2020	319.8/H/W291730 <b>電子書籍 (MeL)</b>
構造的暴力とその要因、克服を実践的に研究する平和学の基本を学ぶ。グローバル化の進展で複雑化する社会課題に対して平和学からアプローチする。					
<input type="checkbox"/>	<a href="#">バナナと日本人：フィリピン農園と食卓のあいだ</a>	鶴見良行 著	岩波書店	1982	IS/K-199
1960年代以降、日本人の食卓に普及したバナナ。フィリピンの生産現場で起こる労働者の人権侵害、農薬による健康被害、環境破壊という犠牲＝豊かさの向こう側を描き、消費者のあり方を問う。					
＜ウェルビーイングとサステナビリティの関係＞					
<input type="checkbox"/>	<a href="#">Our common future</a>	World Commission on Environment and Development	Oxford University Press	1987	519/W/Y180709 <b>オープンアクセス</b>
<input type="checkbox"/>	<a href="#">地球の未来を守るために</a>	環境と開発に関する世界委員会[編]	福武書店	1987	519.5/Ka5613/A
国連環境と開発に関する世界委員会(WCED)が発表した報告書(通称「ブルントラント報告書」)。サステナビリティの定義を示している。					
<input type="checkbox"/>	<a href="#">Report by the Commission on the Measurement of Economic Performance and Social Progress</a>	Stiglitz, J. E., Sen, A., & Fitoussi, J. P.	Commission on the Measurement of Economic Performance and Social Progress	2009	オープンアクセス 左記タイトルをクリック
<input type="checkbox"/>	<a href="#">暮らしの質を測る：経済成長率を超える幸福度指標の提案</a>	ジョセフ・E・スティグリッツ [ほか]著；福島清彦訳	金融財政事情研究会	2012	361.9/S/W251413
仏サルコジ大統領(当時)が設置した「経済成長と社会進歩の計測に関する委員会」による報告書。GDPの限界の認識、主観・客観のウェルビーイング指標開発、サステナビリティ視点の追加の重要性を提言し、後の研究・取り組みに大きな影響をもたらした。					
<input type="checkbox"/>	<a href="#">Our Common Agenda : report of the Secretary-General</a>	United Nations	United Nations	2021	オープンアクセス 左記タイトルをクリック
国連がSDGs達成に向けて既存の取り組みを加速させるべく公表。GDPを補完する評価指標策定の必要性が“Beyond GDP”として言及されている。					
<input type="checkbox"/>	<a href="#">Valuing What Counts – United Nations System-wide Contribution on Progress Beyond Gross Domestic Product (GDP)</a>	High-Level Committee on Programmes(HLCP)	United Nations	2022	オープンアクセス 左記タイトルをクリック
国連がBeyond GDPとして目指すものとして、「Well-beingと主体性」(現在のWell-being)、「生命と地球の尊重」(将来のWell-being)、「格差の縮小と連帯の強化」(より公平なWell-beingの分配)と表明。					
<input type="checkbox"/>	<a href="#">持続可能性とWell-Being：世代を超えた人間・社会・生態系の最適な関係を探る</a>	大塚直, 諸富徹 共編著	日本評論社	2022	519/O/W306741
人間の福祉のあり方にかかる議論において、「持続可能な発展」/「持続可能性」の概念を批判したA.センの議論をもとに、ケイパビリティ・アプローチとサステナビリティ・アプローチを検討している。					
<input type="checkbox"/>	<a href="#">環境・福祉政策が生み出す新しい経済：“惑星の限界(プラネタリー・バウンダリー)”への処方箋</a>	駒村康平, 諸富徹編著；全労済協会編	岩波書店	2023	519.1/K/W300601 <b>電子書籍 (MeL)</b>
持続可能な社会・経済・環境のための諸課題を検討。豊かさを客観的に捉えるための尺度、現代社会におけるウェルビーイングに関する章あり。					

## 授業入門クエスト(CUCクエスト)

「授業入門クエスト」は、授業内容に関連する図書やデータベース等の情報資源を例示したリーフレットです。図書は、「授業入門クエスト」コーナーにあります。

◎各回の講義テーマについて詳しく知るには

開発、自然環境の破壊、調和を取り戻す取り組みを学ぶ [第4回]					
	書名	著者	出版社	出版年	請求記号
<input type="checkbox"/>	<a href="#">環境問題の社会理論：生活環境主義の立場から</a>	鳥越皓之編；桜井厚 [ほか] 執筆	御茶の水書房	1989	519.5/Ka5612
<input type="checkbox"/>	<a href="#">自然保護を問いなおす：環境倫理とネットワーク</a>	鬼頭秀一著	筑摩書房	1996	CKS/068
<input type="checkbox"/>	<a href="#">観光再生：サステナブルな地域をつくる28のキーワード</a>	村山慶輔著	プレジデント社	2020	689/M/W306738

持続可能な農業と自然、人々の暮らしを学ぶ [第5回]					
	書名	著者	出版社	出版年	請求記号
<input type="checkbox"/>	<a href="#">有機農業：これまで・これから</a>	小口広太著	創森社	2023	615.71/O/W302722
<input type="checkbox"/>	<a href="#">脱成長の道：分かち合いの社会を創る</a>	勝俣誠, マルク・アンペール編著；セルジュ・ラトゥーシュ [ほか] 執筆	コモンズ	2011	304/K/W306737
<input type="checkbox"/>	<a href="#">みんなでつくる「いただきます」：食から創る持続可能な社会</a>	田村典江, クリストフ・D・D・ルプレヒト, スティーブン・R・マックグリービー編	昭和堂	2021	611.3/T/W306768
<input type="checkbox"/>	<a href="#">戦争と農業</a>	藤原辰史著	集英社インターナショナル	2017	610.12/F/S45416
<input type="checkbox"/>	<a href="#">現代社会の理論：情報化・消費化社会の現在と未来 [改定版]</a>	見田宗介著	岩波書店	2018	IS/465/NR

多様な選択肢のある社会づくり—市民の役割とその促進 [第6回]					
	書名	著者	出版社	出版年	請求記号
<input type="checkbox"/>	<a href="#">有償ボランティアという働き方：その考え方と実態《論文》</a>	小野晶子	労働政策研究・研修機構	2005	オープンアクセス 左記タイトルをクリック
【収録刊行物】労働政策レポート 3, 1-51					
<input type="checkbox"/>	<a href="#">有償ボランティアにおける謝礼金が生み出す会計的なジレンマ《論文》</a>	齊藤紀子	東洋経済新報社	2024	051/B-Hit (開架和雑誌)
【収録刊行物】一橋ビジネスレビュー 72 (2), 36-48					
<input type="checkbox"/>	<a href="#">ソーシャル・エンタープライズ：社会的企業の台頭</a>	谷本寛治編著	中央経済社	2006	335.8/T/W206296 335.8/T/W272309 (B2北書庫)
<input type="checkbox"/>	<a href="#">「ボランティア」の誕生と終焉：「贈与のパラドックス」の知識社会学</a>	仁平典宏著	名古屋大学出版会	2011	369.7/N/W243298
<input type="checkbox"/>	<a href="#">「参加の力」が創る共生社会：市民の共感・主体性をどう醸成するか</a>	早瀬昇著	ミネルヴァ書房	2018	369.7/H/W306739□

電子書籍を学外から閲覧する場合は、RemoteXs(リモートアクセス)を利用して閲覧することができます。RemoteXsの利用方法については、以下の手順をご覧ください。

[RemoteXs: 利用申請方法](#)

[RemoteXs: 電子書籍の閲覧方法](#)